

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1271号	氏名	福田 浩敏
論文審査担当者		主査	丹羽 正美
		副査	江口 勝美
		副査	大園 恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、成長ホルモン放出促進因子受容体リガンドであるグレリンの胃・小腸運動能調節機能を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 生体位実験に伴う種々の変動要因を可能な限り除外するようにデザインし、更に <i>in vitro</i> での確立された薬理的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、カプサイシン感受性知覚神経を介するグレリンの胃・小腸の食物輸送能促進作用を明らかにし、今後の消化器内科学的治療法の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は消化器内科学的研究の進歩に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			